

- 大阪市は、森林を保有していないことから、大消費地として木材利用の拡大や普及啓発活動をととして、森林整備の促進を間接的に支援してまいります。
- 令和4年度においては、保育園や小中学校など次世代を担う世代が木材に触れ合うことを目的に、木製品による保育園の備品の整備、小中学校の椅子や机の整備を実施しました。
- また、間伐材等を利用した木工細工体験教室を実施し、椅子などを製作して区役所内で活用する他、身近な自然での森林環境教育につながるイベントを開催しました。
- さらに、木材利用の普及啓発の一環として市立図書館において、関連図書を整備しました。

□ 事業内容

公立保育所木製製品の整備促進事業

公立保育所において児童が使用する遊具・玩具・家具等について、国産木材を使用した製品を整備した。

【事業費】17,010千円（うち譲与税17,010千円）

【実施時期】令和4年4月～令和5年3月

【木製製品内容】

- ・家具類（苅田南・日之出保育所）
ロッカー、棚、パーティションの購入
- ・玩具（市内公立保育所55箇所）
積み木、知育玩具、ごっこあそびセット等の購入
- ・棚（市内公立保育所55箇所）



□ 工夫・留意した点

- ・木製製品の角の面取り寸法や用いる塗料等を児童の安全に配慮した仕様内容とした。
- ・保育室のレイアウト変更が随時できるよう持ち運びできる棚の大きさにした。

□ 基礎データ

①令和4年度譲与額：310,620千円		②私有林人工林面積（※1）：0.00ha	
③林野率（※1）：0.00%		④人口（※2）：2,752,412人	⑤林業就業者数（※2）：157人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より